

この説明文書は服用前に必ずお読み下さい。また、
必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

便秘薬・5種類の生薬成分配合

ウエストン[®]

第②類医薬品

便秘は肌あれ、吹出物の原因となるばかりでなく、腹部膨満、頭重、食欲不振などの不快な症状を伴います。そのため、なるべく早く自然なお通じを回復する必要があります。

ウエストン[®]はフィルムコーティングを施した錠剤で、弱った腸のぜん動運動を活発にしてお通じを良くし、腸を正常に保つセンナ末・ケンゴシ末・ダイオウ乾燥エキスとカンゾウ乾燥エキス・コウボク末の5種類の生薬成分を配合した便秘薬です。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

- 1.本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと
他の瀉下薬(下剤)
- 2.授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること
- 3.大量に服用しないこと



■ 相談すること

- 1.次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (4) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (5) 次の症状のある人。

はげしい腹痛、悪心・嘔吐

- 2.次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	はげしい腹痛、悪心・嘔吐

- (2) 1週間位服用しても症状がよくなりません

- 3.次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること

下痢

効 能

- 便秘
- 便秘に伴う次の症状の緩和:頭重、のぼせ、肌あれ、吹出物、食欲不振(食欲減退)、腹部膨満、腸内異常發酵、痔

用法・用量

次の量を、水又はぬるま湯で服用して下さい。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人(15才以上)	2～3錠	1日2回を限度とし、なるべく空腹時に服用して下さい。 服用間隔は4時間以上おいて下さい。
11才～14才	1～2錠	ただし、初回は最小量を用い、便通の具合や状態を みながら少しずつ増量又は減量して下さい。
11才未満		服用しないで下さい。

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守して下さい。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。
- (3) 作用が現れる時間には個人差がありますが、本剤を空腹時に服用されれば通常7～10時間後(おやすみ前に服用されれば翌朝)に効果が現れます。

成分・分量 1錠中

成 分 名	分 量	作 用
センナ末	205mg	腸粘膜を刺激して便通を促します。
ケンゴシ末	20mg	
ダイオウ乾燥エキス	22mg (大黃78.6mgに相当)	
カンゾウ乾燥エキス	15mg (甘草117.2mgに相当)	排便時の腹痛などの不快な症状を 和らげます。
コウボク末	25mg	

添加物:CMC-Ca、ヒドロキシプロピルセルロース、メチルセルロース、ステアリン酸Ca、ケイ酸Al、セルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、マクロゴール、カルナウバロウ

〈成分・分量に関連する注意〉

- (1) 本剤に配合されているセンナ末及びダイオウ乾燥エキスにより、尿が黄褐色又は赤色になることがありますが無異常ではありません。
- (2) 本剤の成分には生薬及び生薬エキスが含まれていますので、製品により錠剤の色調が多少異なることがあります、効果にはわかりありません。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) ビンの中の詰め物は、輸送中の錠剤の破損を防止するために入れていますので、フタをあけた後は捨てして下さい。
- (5) 使用期限をすぎた製品は服用しないで下さい。
- (6) 水分が錠剤に付着しますと、錠剤表面が変色したり、はがれたりすることがありますので、誤って水滴を落としたり、ぬれた手でふれないで下さい。



便秘しがちな方のために

- (1) 規則的な排便の習慣をつけることが大切で、毎日時間をきめて一定時間トイレに入るよう心がけて下さい。
また、便意をもよおしたときは、がまんせずトイレに行ってください。
- (2) 繊維質の多い食物と水分を多くとるように心がけて下さい。
(例:野菜類、果物、コンニャク、カンテン、海藻など)
- (3) 適度な運動、腹部マッサージなどを行うよう心がけて下さい。
- (4) 早朝、起きがけに冷たい水または牛乳等を飲むと便意をもよおしやすくなります。

製品のお問い合わせ先

小林薬品工業株式会社 お客様相談室
電話 058(278)3933
受付時間 10時から16時まで(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
☎0120-149-931(フリーダイヤル)

製造販売元

小林薬品工業株式会社

岐阜県岐阜市中鷺1丁目139番地

本社所在地

東京都中央区日本橋箱崎町40番6号